

ハブ情報

発行：ハブ対策推進協議会
〔事務局：名瀬保健所 衛生・環境室〕



9月の咬傷者は奄美大島で2名、徳之島で2名の合計4名でした。

咬傷場所は、伊仙町が2名、瀬戸内町が1名、宇検村が1名で、その内訳は、ハブ取扱中が1名、草刈り中・伐採中・除草中が各1名です。

夏の猛暑に比べてハブが活動しやすい気温となり、咬傷事故が増加しています。

ハブは温度を感知する器官を持っており、周りが暗くても人などに反応します。

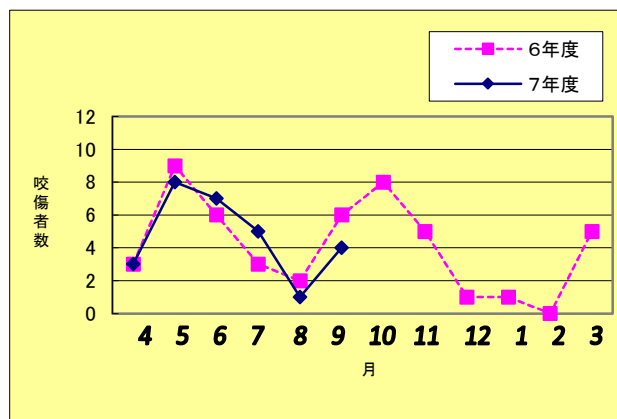
夜間出歩く際は、懐中電灯等を持ってハブを発見しやすいようにしましょう。

●群島全体のハブ咬傷者数

※()内は前年同月比

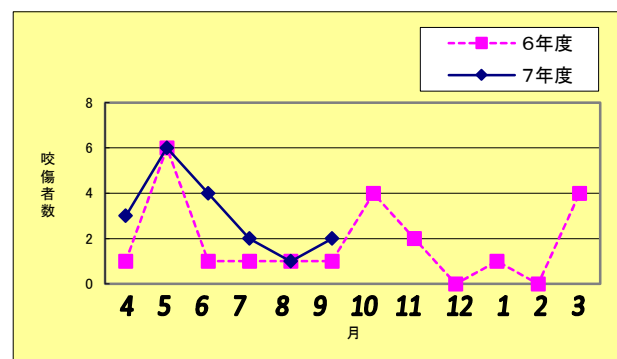
累計は令和7年4月から

地区別	9月	累計
奄美大島	2 (+ 1)	18 (+ 7)
徳之島	2 (- 3)	10 (- 8)
計	4 (- 2)	28 (- 1)



●奄美大島のハブ咬傷者数

市町村	9月	累計
奄美市	0 (± 0)	9 (+ 3)
大和村	0 (± 0)	1 (+ 1)
宇検村	1 (+ 1)	2 (+ 1)
瀬戸内町	1 (+ 1)	5 (+ 3)
龍郷町	0 (- 1)	1 (- 1)
計	2 (+ 1)	18 (+ 7)



●徳之島のハブ咬傷者数

市町村	9月	累計
徳之島町	0 (- 3)	4 (- 1)
天城町	0 (- 2)	2 (- 5)
伊仙町	2 (+ 2)	4 (- 2)
計	2 (- 3)	10 (- 8)

